

精煉方跡

設置目的

嘉永5年11月10日（1852. 12. 20）に火薬製造部門として設置後、主として西洋科学技術研究、殖産興業推進に移行し、特に蒸気船製造など海軍方との結び付きが強かった。

銃砲関連の活動

蒸気砲 嘉永7年5月（1854. 06）に三匁程度の蒸気砲を試作開始、安政4年9月（1857. 11）に完成

平錐台 安政3年8月（1856. 09）から田中近江が多布施の平錐台を改良

ドントル管 安政3年9月（1856. 10）から製造開始、後に合薬方に引き継ぐ

反射炉 安政4年10月（1857. 12）に中村奇輔の発案で、地鉄に水で練った生石灰を塗って溶解、24ポンド長砲・30ポンド中砲を鋳造

ライフル入れ道具 文久元年7月19日（1861. 08）から製造？

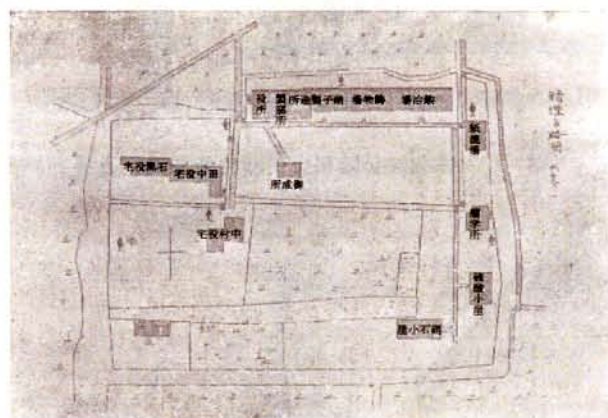
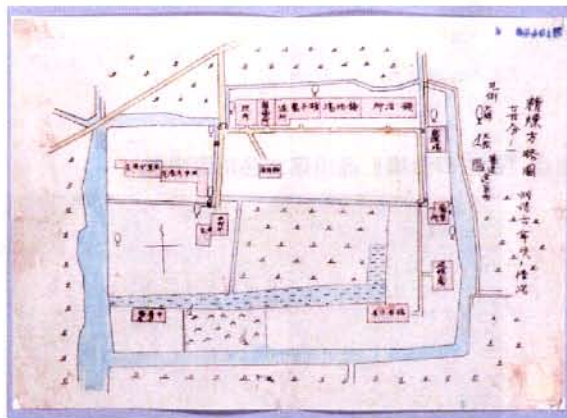
ライフル砲 文久元年12月（1862. 01）に1ポンド（？）ライフル砲試射

六角砲 慶応2年5月（1866. 07）までに六角砲（ウィットワース式？）を試作

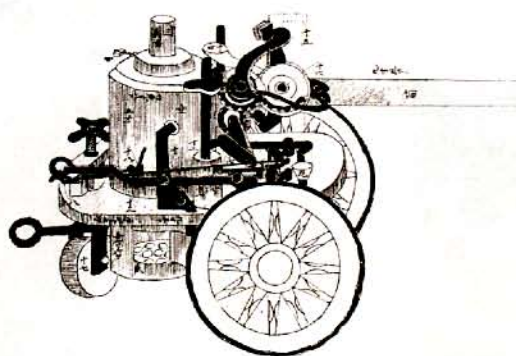
ライフル砲 慶応2年11月（1866. 12）にオランダ式1ポンドライフル砲を試作（製作は大銃製造方）

その後

廃藩置県後、鍋島家の経営に移り、明治27年（1894）にガラス製造の精煉合資会社が成立



明治六年 精煉方略図（佐賀県立図書館蔵）



「蒸気砲雛形設計図」『田中近江大掾』